

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		解放子ども会学習会開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	田中 政吉
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	高野 和子
	施策の柱	43	人権尊重についての理解と相談体制の充実			所属班	啓発教育班	(内線)	5334
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 4	事業連番 10861	根拠法令		
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 50 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和46年頃、同和教育推進教員(当時)の配置により、同和地区に住む児童生徒の部落差別の解消を目的に始まった。旧合志町エリアの解放子ども会(小・中・高校生)学習会は、解放子ども会会員を対象に解放学習、教科学習やレクリエーションを実施し仲間づくりと差別に負けない学習に取り組んだ。旧西合志町では、中学生を対象に人権教育子ども会として学習を取り組んでいる。解放子ども会学習会(小学校・中学校・高校:週1回)及び人権教育子ども学習会(中学校:週1回)令和5年度より人権教育事業に統合。
【業務の流れ】	①市内小中学校の児童生徒に対し、会員募集を行う。②小・中・高校の先生へ学習会講師の委嘱を行う。③会員の児童生徒・講師の先生方については、スポーツ安全保険への加入手続きを行う。④5月又は6月に開講式を開催する。⑤合同キャンプや団結もちつき大会を実施する。⑥3月に閉講式を開催する。⑦年度末に学習会講師へ謝金を支払う。⑧その他、随時必要な事務を行う。 ※上記④⑤⑥は、新型コロナウイルス感染症等の状況を見ながら実施。
【主な予算費目】	職員手当等、報償費、需用費、役務費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
令和4年度は学習会を計62回開催した。延べ人数645人。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小中学生合同キャンプ及び学習会活動の一部を中止。合同キャンプの代替事業として一日研修旅行(水俣市)を実施した。 【基準に達しなかった理由】コロナ禍により事業の一部中止・変更があったため。 令和4年度 参加児童生徒28人、講師(小中高校の先生)105人 令和3年度 参加児童生徒18人、講師(小中高校の先生)102人 令和2年度 参加児童生徒数30人、講師(小中高校の先生)91人	学習会や小学生・中学生合同夏季キャンプ等を実施し、会員相互の仲間づくりと学校・地域住民間の交流を深める。 令和5年度より人権教育事業へ統合	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 学習会開催回数	回	人権教育事業へ統合することによる事業費の減
イ: 学習会参加者数(延べ人数)	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
解放子ども会・人権教育子ども学習会の会員(児童・生徒)	人	→ ア: 解放子ども会会員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 人	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
差別に負けない力をつけることができる。	人	→ ア: 差別を見抜く学習会に参加した人数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
差別を見抜く力を身につける事が差別に負けない力をつけることにつながるため。目標値は解放子ども会会員数		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	33	48	160	62	160	160	160	160
	イ	人	96	346	800	645	800	800	800	800
② 対象指標	ア	人	39	24	30	28	30	30	30	30
	イ									
③ 成果指標	ア	人	20	50	50	50	50	50	50	50
	イ									
投資	事源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,185	775	1,900	964	1,900	1,900	1,900
入費	(A) 事業費計	千円	1,185	775	1,900	964	0	1,900	1,900	1,900
	(A)のうち指定経費	千円	17	15	87	34	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	17	15	73	34	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	4	3	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	360	320	320	402	320	320	320	320
(B) 人件費計		千円	1,419	1,251	1,274	1,530	1,274	1,274	1,274	1,274
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,604	2,026	3,174	2,494	1,274	3,174	3,174	3,174

事務事業名	解放子ども会学習会開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 コロナ禍のため夏季キャンプを中止し、代替として水俣市への一日研修を開催した。会員である子ども達は、学習会への参加により差別を見抜く力を身につけることができている。可能な範囲で出来る限りの活動をしており、成果は上がっている。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 学習会に参加する子ども達は、学習会やレクリエーション等を通して、仲間づくりや部落問題についての学習・理解を深めることができる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 年度初めの会員募集を早めに行うことで、より多くの子どもたちの参加が見込める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はほかにない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限必要な経費のみを計上しており、これ以上の削減は見込めない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で対応しており、これ以上の人件費の削減は見込めない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 解放子ども会の参加者は、市内の児童・生徒であり、差別に負けない力の育成をめざし学習を行っているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 差別をなくす取り組みは、行政の責務であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

コロナ禍であるが、今後も子ども達の人生の糧となるような事業内容を考えていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						